

令和元年6月27日（木）

発行 宇城市立 小川小学校

地震津波避難訓練

校長講話 「津波てんでんこ」

6月3日に避難訓練を行いました。地震中は机の下にもぐり、その後、運動場に避難しました。それから津波から身を守るため観音山グラウンドまで避難しました。避難が終わって、私からは日頃の訓練の大切さを子どもたちに、次のように訴えました。ご家庭でも、私の話で会話を広げていただければ幸いです。



今から8年前、6年生が保育園の年少さんくらいかな、平成23年3月11日、東日本大震災があり、亡くなった方が約1万6千人、行方不明者2千5百人という津波の被害がでました。それにもかかわらず、岩手県の釜石小学校の子どもたちは全員、自分の命を守り抜くことができました。学校が終わり下校していたのに、なぜ、全員が自分の命を守り抜くことができたのでしょうか。

それは、子どもたちが自分の命は自分で守ることだけを考えて（このことを「津波てんでんこ」と言います）、自分の家に戻ったり、お父さん・お母さんの助けを待っていたりせず、素早く避難できたからです。

釜石小の子どもたちは「訓練をしたことを行っただけなんです。」と言っています。ですから、今日は、みんながどれくらい真剣に避難訓練をしているかをしっかり見ていました。ただ、ひょっとしたら、休み時間かもしれませんね。

そこで今日の絶対覚えてもらいたいことを1つ言います。大きな地震があったら、『津波てんでんこ』 自分で自分の命を守る」です。

私たちも、釜石小の子どもたちのように、たった一つの大切な命を自分で守るために、この避難訓練で学んだことを忘れないようにしましょう。

6月17日 水泳 始まりました

プール掃除を全学年で本当にきれいに行って、プール開きを楽しみにしていたんですが、プール開きの日があいにくの雨になり、体育館でプールの時間の安全について集会



をしました。子どもたちには、「ルールをしっかり守って楽しい水泳学習にしてもらうこと」、「自分の目標をもって取り組むこと」、特に1年生は

「水と友達になること」をお願いしました。次の週の月曜日には低・中・高学年別に泳ぎはじめをしました。



白い ひまわり

6年保護者の片山さんから白い向日葵の苗をいただき今咲いています。

P T Aの方々との協力で イモ苗植え

1・2年生 保護者の皆さんと！

体育館西側の畑を2年生保護者の片山さん、米田さんに畝作り、マルチをしていたきました。6月6日に片山さんの指導のもと、保護者の皆さんと約350本のイモ苗植えができました。小川小の素晴らしいところは、子どもの教育を学校ばかりでなく、たくさんの方々とともにやっていることだと思います。本年度も11月の終わりには、たくさんのお芋を収穫できることと思います。今から楽しみでなりません。





田植え

6月21日(金)に5年生が田植えを実施いたしました。5年生保護者の坂井さんを中心に保護者の方々、中学生の協力を賜りながら、藤山さんの田んぼ500㎡をお借りして、うるち米の苗を手で植えることができました。最初は、難しいのか作業に時間がかかっていましたが、最後は手慣れた手つきで、少ない人数で植えることができました。自分で植えた苗です。稲刈りが楽しみです。

地域の方々との交流で

熊本版コミュニティ・スクール

新学習指導要領において「社会に開かれた教育課程を推進」が謳っており、その具現化の1つとして「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を通し、地域との連携協働による特色ある教育活動の推進」を宇城教育事務所も提言しています。本校の場合は、熊本版コミュニティ・スクールとして平成27年度に教育懇話会という形で組織を立ち上げてスタートさせ、本年度で5年目になります。初市に造り物で参加したり、カルチャー教室に地域人材に講師としておいでいただいたりと、本校は、たくさんの方々に支えられております。本年度も学校と保護者、地域が一体となって子どもが心身共に成長できるよう取り組んで参ります。



【グランドゴルフ】



【将棋】



【パソコン】



【生け花】



【調理】